

# 平成30年度 学校基本統計（学校基本調査報告書） 「名古屋の学校」

- |    |             |                                    |
|----|-------------|------------------------------------|
| 1  | 学校数         | — 学校総数は864、前年度と比べ8増加               |
| 2  | 在学者数        | — 在学者総数は42万6108人、大学の学生数が過去最多を更新    |
| 3  | 幼稚園         | — 園児数は2万6965人で6年連続の減少              |
| 4  | 幼保連携型認定こども園 | — 園数は49園、園児数は6794人でいずれも増加          |
| 5  | 小学校         | — 学校数は266校、児童数は11万4411人で4年連続の増加    |
| 6  | 中学校         | — 学校数は127校、生徒数は5万7432人で7年連続の減少     |
| 7  | 中学校卒業後      | — 卒業者数は1万9673人、進学率は98.5%           |
| 8  | 高等学校        | — 学校数は63校、生徒数は6万7210人で2年連続の減少      |
| 9  | 高等学校卒業後     | — 卒業者数は2万1887人、進学率は60.2%で3年ぶりに上昇   |
| 10 | 特別支援学校      | — 学校数は10校、在学者数は1846人で前年度より45人減少    |
| 11 | 専修学校        | — 学校数は120校、生徒数は3万8178人で前年度より560人増加 |
| 12 | 各種学校        | — 学校数は25校、生徒数は8508人で前年度より59人減少     |
| 13 | 短期大学        | — 学生数は2285人で5年連続の減少                |
| 14 | 短期大学卒業後     | — 卒業者は1197人、うち就職者は82.6%            |
| 15 | 大学          | — 学生数は学部・大学院合わせて過去最多の10万2479人      |
| 16 | 大学(学部)入学者   | — 学部入学者は2万686人、うち愛知県内の高校出身者は66.7%  |
| 17 | 大学卒業後       | — 学部卒業者は1万8345人、うち就職者は78.8%        |

# 1 学校数 — 学校総数は864、前年度と比べ8増加

平成30年5月1日現在の市内の学校数は、

幼稚園 174園(前年度比5園減)

幼保連携型

認定こども園 49園(同12園増)

小学校 266校

中学校 127校

高等学校 63校(同1校減)

特別支援学校 10校

専修学校 120校(同1校増)

各種学校 25校

短期大学 7校

大学 23校(同1校増)でした。

前年度と比べ、幼稚園が5園減少、高等学校が1校減少した一方、幼保連携型認定こども園が12園増加、専修学校が1校増加、大学が1校増加し、学校総数は864と前年度より8増加しました。

[付表1、図1]

※専修学校は、1975年(昭和50年)の学校教育法の改正により制度が規定され、以後、主に各種学校から、規定の規模を有し、認可を受けた学校が専修学校へ移行した。

※「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」の改正により、学校及び児童福祉施設としての法的位置付けを持つ単一の施設として平成27年度から幼保連携型認定こども園が創設された。

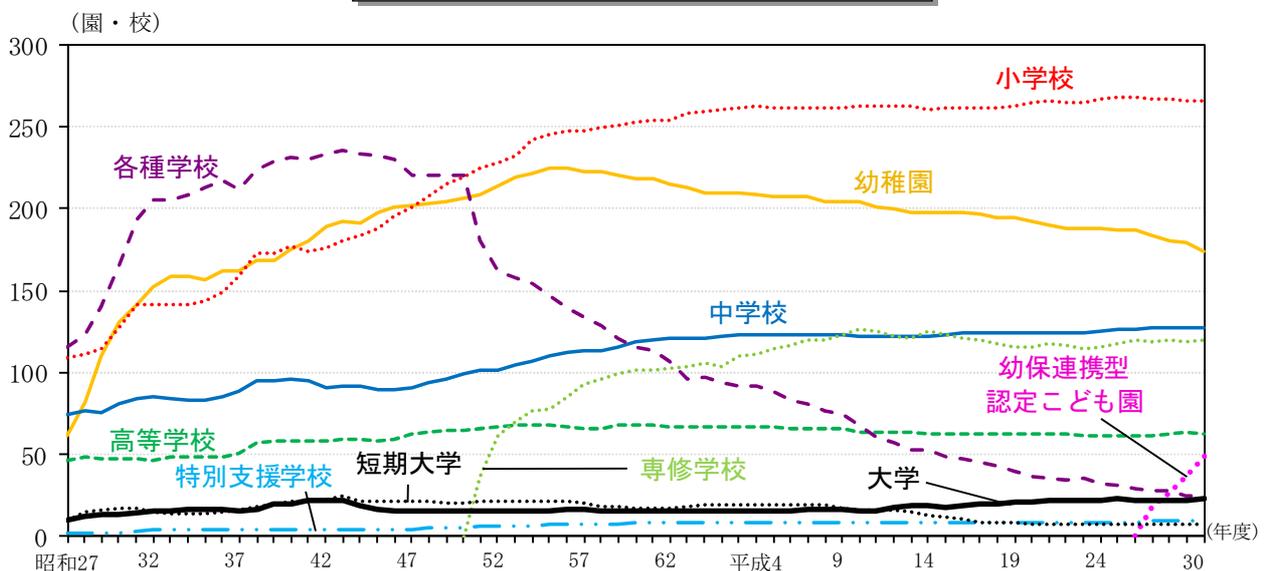
※大学については、本部が名古屋市外にある大学でも、学部が名古屋市内にある場合は学校数に計上している。

付表1 各学校数の推移

(園・校)

年度	幼稚園	幼保連携型 認定こども園	小学校	中学校	高等学校	特別支援 学校	専修学校	各種学校	短期大学	大学
平成20年度	192	—	265	124	63	9	116	37	7	21
21	190	—	266	124	63	9	118	36	7	22
22	188	—	265	124	63	9	117	34	7	22
23	188	—	265	124	62	9	115	35	7	22
24	188	—	267	125	62	9	116	32	7	22
25	187	—	268	126	62	9	118	31	7	23
26	187	—	268	126	62	9	120	29	7	22
27	184	19	267	127	62	10	119	28	7	22
28	181	26	267	127	63	10	120	28	7	22
29	179	37	266	127	64	10	119	25	7	22
30	174	49	266	127	63	10	120	25	7	23
(29年度との差)	△ 5	12	—	—	△ 1	—	1	—	—	1

図1 各学校数の推移



## 2 在学者数 — 在学者総数は42万6108人、大学の学生数が過去最多を更新

在学者数は、

幼稚園 2万6965人(前年度比3.8%減)

幼保連携型認定こども園

6794人(同27.8%増)

小学校 11万4411人(同0.4%増)

中学校 5万7432人(同1.4%減)

高等学校 6万7210人(同0.7%減)

特別支援学校 1846人(同2.4%減)

専修学校 3万8178人(同1.5%増)

各種学校 8508人(同0.7%減)

短期大学 2285人(同6.9%減)

大学 10万2479人(同0.5%増)

でした。

在学者の総数は42万6108人で、前年度と比べ幼稚園、中学校、高等学校、特別支援学校、各種学校、短期大学で減少、幼保連携型認定こども園、小学校、専修学校、大学で増加しています。

近年は全体的に減少あるいは横ばいで推移する一方、大学の学生数(大学院生を含む)は増加傾向にあり、平成30年度は過去最多を更新しました。

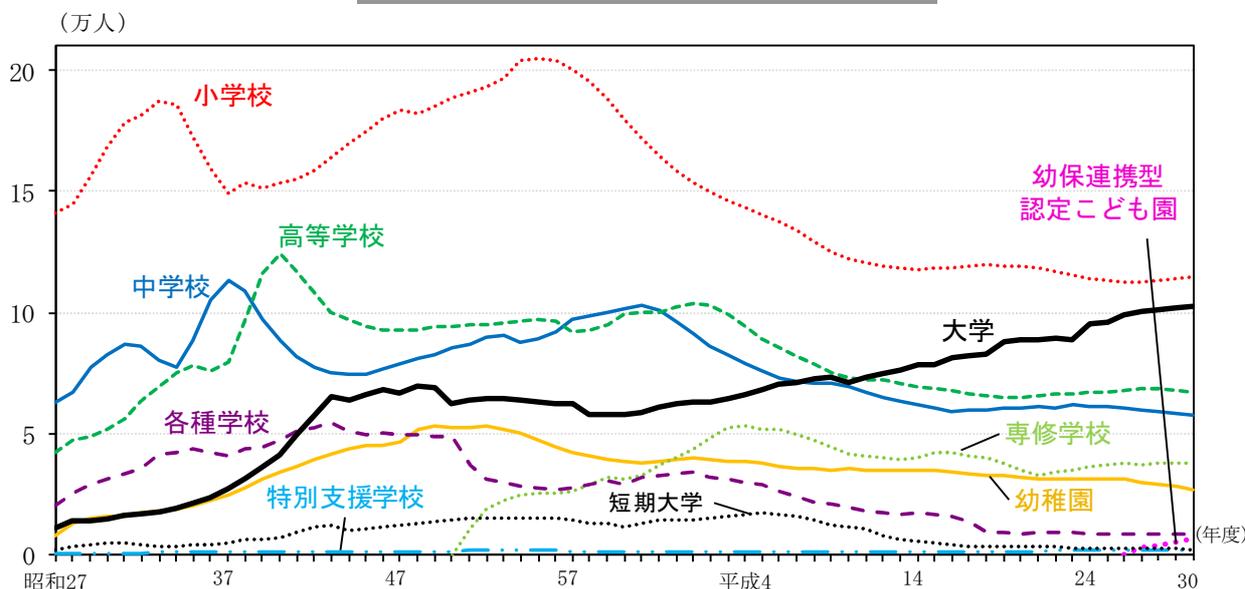
[付表2、図2]

付表2 各学校の在学者数の推移

(人)

年度	幼稚園	幼保連携型 認定こども園	小学校	中学校	高等学校	特別支援 学校	専修学校	各種学校	短期大学	大学
平成20年度	32,043	—	119,297	60,808	65,238	1,536	34,860	8,853	3,303	88,889
21	31,392	—	118,470	61,224	65,552	1,581	32,914	9,014	3,203	88,959
22	31,222	—	116,889	60,912	66,542	1,640	34,201	9,033	3,084	89,154
23	31,347	—	115,408	61,774	66,360	1,665	34,939	9,170	2,969	89,044
24	31,597	—	113,846	61,590	66,866	1,734	36,723	8,579	2,825	95,328
25	31,152	—	113,027	61,293	67,021	1,747	36,925	8,881	2,846	96,108
26	30,934	—	112,849	60,391	68,201	1,823	38,035	8,635	2,826	98,803
27	29,912	3,023	112,928	59,715	68,285	1,853	37,213	8,309	2,740	100,177
28	29,111	3,876	113,269	58,790	68,297	1,877	37,865	8,599	2,738	100,914
29	28,066	5,316	113,986	58,225	67,655	1,891	37,618	8,567	2,455	101,926
30	26,965	6,794	114,411	57,432	67,210	1,846	38,178	8,508	2,285	102,479
(29年度との差)	△ 1,101	1,478	425	△ 793	△ 445	△ 45	560	△ 59	△ 170	553
( " 増減率)	△ 3.9%	27.8%	0.4%	△ 1.4%	△ 0.7%	△ 2.4%	1.5%	△ 0.7%	△ 6.9%	0.5%

図2 各学校の在学者数の推移



### 3 幼稚園 — 園児数は2万6965人で6年連続の減少

#### (1) 園数

幼稚園数は国立1園、公立23園、私立150園の合計174園で、前年度より5園減少しました。

年齢別にみると

3歳児 8701人(全園児数の32.3%)  
 4歳児 8973人(同33.3%)  
 5歳児 9291人(同34.5%)でした。

#### (2) 本務教員数

本務教員数は1740人で、女性教員の占める比率は93.7%でした。

設置者別にみると

国立 137人(全園児数の0.5%)、  
 公立 2039人(同7.6%)、  
 私立 2万4789人(同91.9%)でした。

#### (3) 園児数

園児数は2万6965人(男子1万3659人、女子1万3306人)で、前年度より1101人減少し(前年度比3.9%減)、6年連続の減少となりました。

本務教員1人当たり園児数は15.5人で、全国値の12.6人を上回っています。

1学級当たりの園児数は23.8人で、全国値は21.8人となっています。

[付表1・2・3、第1表]

付表3 幼稚園の本務教員数及び学級数の推移

年度	本務教員数(人)				本務教員1人当たり		学級数	1学級当たり園児数	
	うち女性教員	比率	(全国値)	園児数(人)	(全国値)	(人)		(全国値)	
平成25年度	1,880	1,756	93.4%	93.4%	16.6	14.3	1,263	24.7	22.6
26	1,877	1,755	93.5%	93.3%	16.5	14.0	1,251	24.7	22.4
27	1,853	1,734	93.6%	93.4%	16.1	13.8	1,222	24.5	22.5
28	1,812	1,694	93.5%	93.5%	16.1	13.4	1,193	24.4	22.3
29	1,784	1,667	93.4%	93.5%	15.7	13.0	1,166	24.1	22.1
30	1,740	1,630	93.7%	93.5%	15.5	12.6	1,135	23.8	21.8

注) 平成27年度以前の本市の教員数には教育補助員を含む。

#### 4 幼保連携型認定こども園 — 園数は49園、児童数は6794人でいずれも増加

##### (1) 園数

幼保連携型認定こども園数は49園(すべて私立)で、前年度より12園増加しました。

##### (2) 本務教員数

本務教員数は980人で、女性教員の占める比率は93.5%でした。

##### (3) 園児数

園児数は6794人(男子3434人、女子3360人)で、前年度より1478人の増加(前年度比27.8%増)となりました。

年齢別にみると、

0歳児	321人(全園児数の4.7%)
1歳児	814人(同12.0%)
2歳児	969人(同14.3%)
3歳児	1588人(同23.4%)
4歳児	1590人(同23.4%)
5歳児	1512人(同22.3%)

本務教員1人当たり園児数(0～5歳児)は6.9人で、全国値は6.5人となっています。

1学級当たりの園児数(3～5歳児)は22.2人で、全国値は29.3人となっています。

[付表1・2・4、第2表]

付表4 幼保連携型認定こども園の本務教員数及び学級数

年度	本務教員数(人)				本務教員1人当たり園児数(0～5歳児)		学級数	1学級当たり園児数(3～5歳児)	
	うち女性教員	比率	(全国値)	(人)	(全国値)	(人)		(全国値)	
平成27年度	430	401	93.3%	94.3%	7.0	7.5	91	23.1	21.4
28	530	496	93.6%	94.5%	7.3	7.0	116	23.4	21.5
29	725	671	92.6%	94.7%	7.3	6.7	160	22.7	21.3
30	980	916	93.5%	94.7%	6.9	6.5	211	22.2	29.3

注) 平成27年度の本市の教員数には教育・保育補助員を含む。

##### (4) 保育所児童数(学校基本調査対象外)

3～5歳の推計人口に占める保育所児童数の割合は41.7%(前年度比0.3ポイント増)、同幼保連携型認定こども園園児数の割合は8.5%(同2.0ポイント増)で、同幼稚園園児

の割合は48.6%(同1.7ポイント減)となりました。

[付表5]

付表5 3～5歳の推計人口、保育所児童数、幼保連携型認定こども園園児数及び幼稚園園児数の推移

(カッコ内は推計人口に占める割合)

(各年度5月1日)(人)

年度	推計人口(3～5歳)	保育所児童数(3～5歳児)	幼保連携型認定こども園園児数(3～5歳児)	幼稚園園児数(3～5歳児)	保育所児童数 + 幼保連携型認定こども園園児数 + 幼稚園園児数
平成25年度	56,751	23,045 (40.6%)	—	—	54,197 (95.5%)
26	57,497	23,755 (41.3%)	—	—	54,689 (95.1%)
27	57,652	23,035 (40.0%)	2,099 (3.6%)	29,912 (51.9%)	55,046 (95.5%)
28	56,618	23,381 (41.3%)	2,709 (4.8%)	29,111 (51.4%)	55,201 (97.5%)
29	55,845	23,137 (41.4%)	3,633 (6.5%)	28,066 (50.3%)	54,836 (98.2%)
30	55,453	23,145 (41.7%)	4,690 (8.5%)	26,965 (48.6%)	54,800 (98.8%)

注1) 園児の年齢は4月1日現在の満年齢による。

注2) 推計人口は4月1日現在。

注3) 保育所児童数は子ども青少年局保育企画室の資料から作成。平成27年度以降の保育所児童数は4月1日現在。

注4) 保育所児童数には保育所型認定こども園の園児数(2号認定)を含む。

## 5 小学校 — 学校数は266校、児童数は11万4411人で4年連続の増加

### (1) 学校数

学校数は、国立1校、公立262校、私立3校の合計266校で、前年度と同数でした。

学年別にみると、最も多いのは2年生で1万9385人(全児童数の16.9%)、最も少ないのは6年生で1万8785人(同16.4%)でした。

### (2) 本務教員数

本務教員数は6620人で、女性教員の占める比率は64.2%でした。

設置者別にみると、

国立 676人(全児童数の0.6%)

公立 11万2176人(同98.0%)

私立 1559人(同1.3%)でした。

### (3) 児童数

児童数は11万4411人(男子5万8440人、女子5万5971人)で、前年度より425人増加し(前年度比0.4%増)、4年連続の増加となりました。

本務教員1人当たり児童数は17.3人(前年度と同数)で、全国値は15.3人となっています。

1学級当たりの児童数は26.1人(前年度より0.1人減)で、全国値は23.5人となっています。

[付表1・2・6、第3表]

付表6 小学校の本務教員数及び学級数の推移

年度	本務教員数(人)				本務教員1人当たり		学級数	1学級当たり児童数	
	うち 女性教員	比率	(全国値)	児童数 (人)	(全国値)	(人)		(全国値)	
平成25年度	6,219	3,979	64.0%	62.5%	18.3	16.0	4,233	26.9	24.4
26	6,272	4,035	64.3%	62.4%	18.0	15.8	4,245	26.6	24.2
27	6,369	4,124	64.8%	62.3%	17.7	15.7	4,288	26.3	24.0
28	6,460	4,173	64.6%	62.3%	17.5	15.5	4,309	26.3	23.9
29	6,578	4,237	64.4%	62.2%	17.3	15.4	4,351	26.2	23.6
30	6,620	4,249	64.2%	62.2%	17.3	15.3	4,378	26.1	23.5

## 6 中学校 — 学校数は127校、生徒数は5万7432人で7年連続の減少

### (1) 学校数

学校数は、国立2校、公立112校、私立13校の合計127校で、前年度と同数でした。

設置者別にみると、

国立 728人(全生徒数の1.3%)、  
公立 4万9367人(同86.0%)、  
私立 7337人(同12.8%)でした。

### (2) 本務教員数

本務教員数は3675人で、女性教員の占める比率は44.8%でした。

本務教員1人当たり生徒数は15.6人(前年度比0.3人減)で、全国値は13.2人となっています。

### (3) 生徒数

生徒数は5万7432人(男子2万1984人、女子2万8248人)で、前年度より793人減少(前年度比1.4%減)し、7年連続の減少となりました。

1学級当たりの生徒数は30.7人(前年度比0.3人減)で、全国値は27.5人となっています。

[付表1・2・7、第4表]

付表7 中学校の本務教員数及び学級数の推移

年度	本務教員数(人)				本務教員1人当たり		学級数	1学級当たり生徒数	
		うち 女性教員	比率	(全国値)	生徒数 (人)	(全国値)		(人)	(全国値)
平成25年度	3,625	1,601	44.2%	42.5%	16.9	13.9	1,906	32.2	28.8
26	3,642	1,628	44.7%	42.6%	16.6	13.8	1,901	31.8	28.5
27	3,648	1,642	45.0%	42.8%	16.4	13.7	1,888	31.6	28.2
28	3,654	1,648	45.1%	43.0%	16.1	13.5	1,876	31.3	28.0
29	3,671	1,653	45.0%	43.1%	15.9	13.3	1,878	31.0	27.8
30	3,675	1,646	44.8%	43.3%	15.6	13.2	1,871	30.7	27.5

## 7 中学校卒業後 — 卒業者数は1万9673人、進学率は98.5%

### (1) 卒業者数

平成30年3月の中学校卒業者は1万9673人(男子1万57人、女子9616人)でした。

### (2) 卒業者の状況 (注1)

卒業者を状況別にみると、

進学者 1万9385人(卒業者の98.5%)

就職者 66人(同0.3%)

専修学校等入学者 49人(同0.2%)

となり、進学者の割合(以下「進学率」という。)は前年度と同じ98.5%で、全国値98.8%より0.3ポイント低くなっています。

### (3) 進学状況

進学率を男女別にみると、

男子 98.3%(前年度比0.1ポイント増)

女子 98.7%(同0.2ポイント減)

となっており、男女とも全国値より低くなっています。

### (4) 就職状況 (注2)

就職者総数は66人(男子52人、女子14人)で、男女ともに前年度より減少しました。

産業別男女別にみると、

男子は第二次産業の割合が大きく(50.0%)

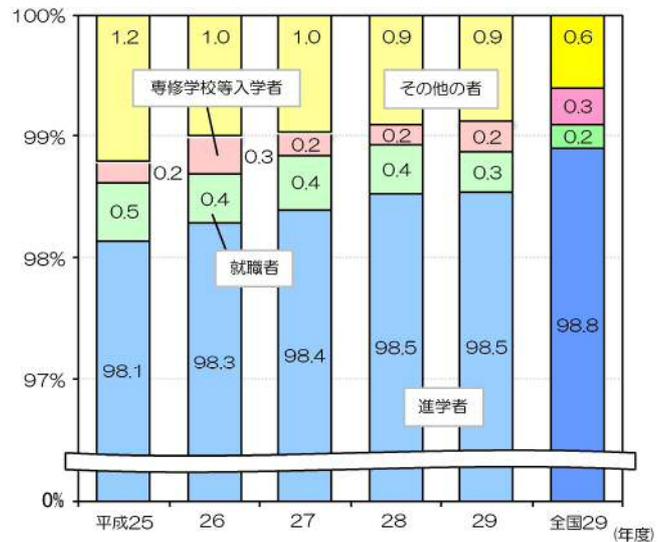
女子は第三次産業の割合が大きく(71.4%)

男女の就職先の特徴がみられますが、第三次産業は男子でも46.0%と大きく、第二次産業との差は小さくなっています。

[図3・4・5、第5表]

(注1)ここでいう「進学者」及び「専修学校等入学者」には進学者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含み、「就職者」には含まない。  
(注2)ここでいう「就職者」には進学者及び専修学校等入学者のうち、就職している者を含む。

図3 中学校卒業者の状況別割合の推移



注「その他の者」とは、家事手伝いをする者や外国の学校へ進学する者、進路未定の者等をいう。

図4 中学校卒業者の男女別進学率の推移

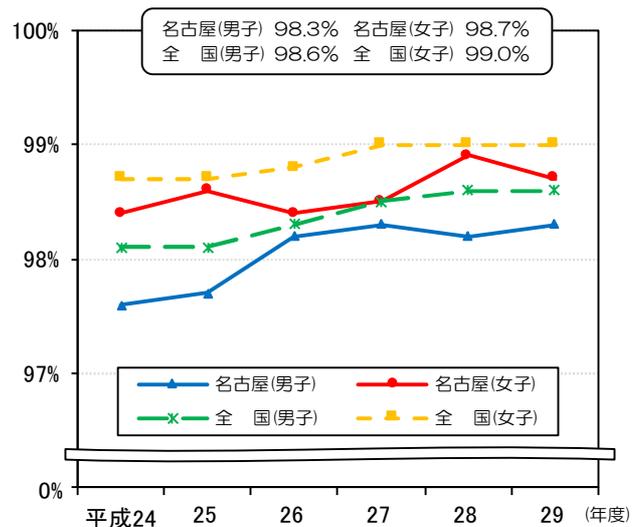
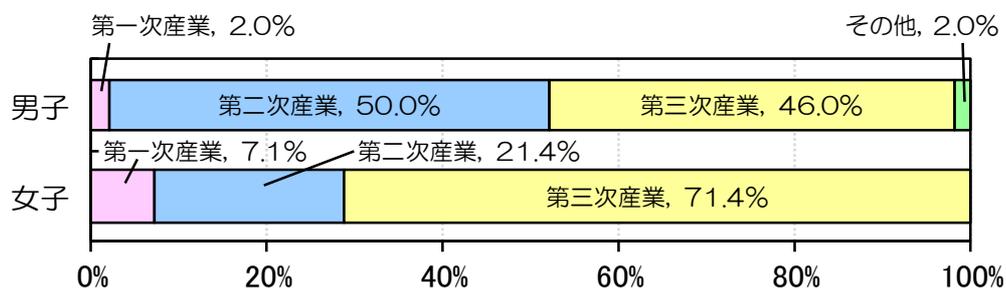


図5 中学校卒業者の就職者の男女別産業別割合



## 8 高等学校 — 学校数は63校、生徒数は6万7210人で2年連続の減少

### (1) 学校数

学校数は、国立1校、公立35校、私立27校の合計63校で、前年度より1校減少しました。

### (2) 本務教員数

本務教員数は4028人で、女性教員の占める比率は32.4%でした。

付表8 高等学校の本務教員数の推移 (人)

年度	本務教員数				本務教員1人当たり	
	うち 女性教員	比率	(全国値)	生徒数	(全国値)	
平成25年度	3,949	1,165	29.5%	30.7%	17.0	14.1
26	4,004	1,202	30.0%	31.0%	17.0	14.2
27	4,013	1,232	30.7%	31.3%	17.0	14.1
28	4,041	1,255	31.1%	31.7%	16.9	14.1
29	4,044	1,279	31.6%	31.9%	16.7	14.0
30	4,028	1,306	32.4%	32.1%	16.7	13.9

### (3) 生徒数

生徒数(専攻科を含む)は6万7210人(男子3万2914人、女子3万4296人)で、前年度より445人減少(前年度比0.7%減)し、2年連続の減少となりました。

設置者別にみると、

国立 359人(全生徒数の0.5%)、  
公立 3万2473人(同48.3%)、  
私立 3万4378人(同51.2%)です。

本務教員1人当たり生徒数は16.7人(前年度と同数)で、全国値は13.9人となっています。

本科の生徒数を学科別にみると、  
普通科 4万9196人(全生徒数の73.3%)  
工業科 8398人(同12.5%)  
商業科 5946人(同8.9%)  
総合学科 2011人(同3.0%)  
家庭科 368人(同0.5%)  
となりました。

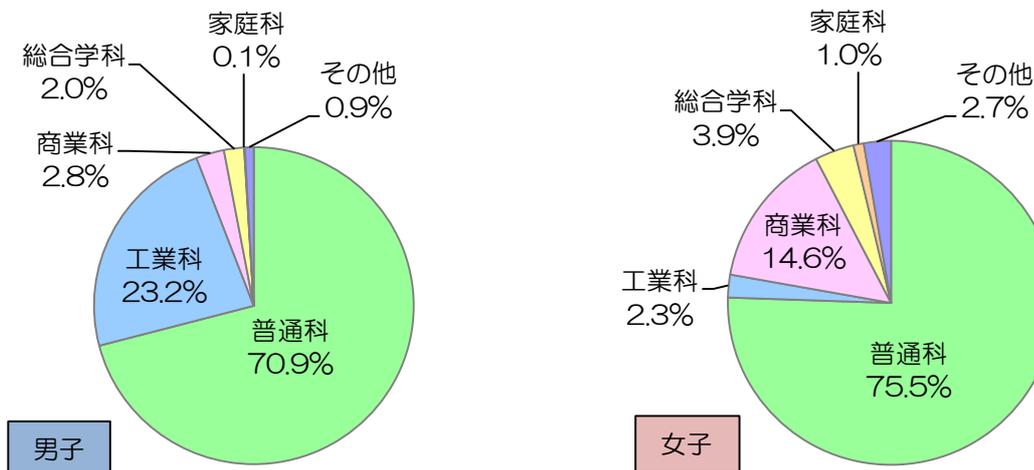
男女別に学科別生徒数を比較すると、男女ともに普通科の割合が最も高くなっていますが、他の学科では男子は工業科、女子は商業科の割合が高くなっています。

[付表1・2・8・9、図6、第6・8表]

付表9 高等学校の男女別学科別生徒数(本科)

内訳	生徒数	生徒数						
		普通科	工業科	商業科	総合学科	家庭科	その他	
総数	67,140	49,196	8,398	5,946	2,011	368	1,221	
実数	男子	32,845	23,298	7,620	935	670	18	304
	女子	34,295	25,898	778	5,011	1,341	350	917

図6 高等学校の本科生徒の男女別学科別割合



9 高等学校卒業後 — 卒業者数は2万1887人、進学率は60.2%で3年ぶりに上昇

(1) 卒業者数

平成30年3月の高等学校卒業者は2万1887人(男子1万746人、女子1万141人)でした。

(2) 卒業者の状況 (注1)

卒業者を状況別にみると、  
 進学者 1万3182人(卒業者の60.2%)  
 専修学校等入学者 4154人(同19.0%)  
 就職者 3443人(同15.7%)  
 となり、進学者の割合は前年度より0.2ポイント増加し、全国値54.7%より5.5ポイント大きくなっています。

(3) 進学状況

進学率を男女別にみると、  
 男子 56.0%(前年度比0.1ポイント増)  
 女子 64.3%(同0.5ポイント増)  
 で、いずれも全国値より高くなっています。

(4) 就職状況 (注2)

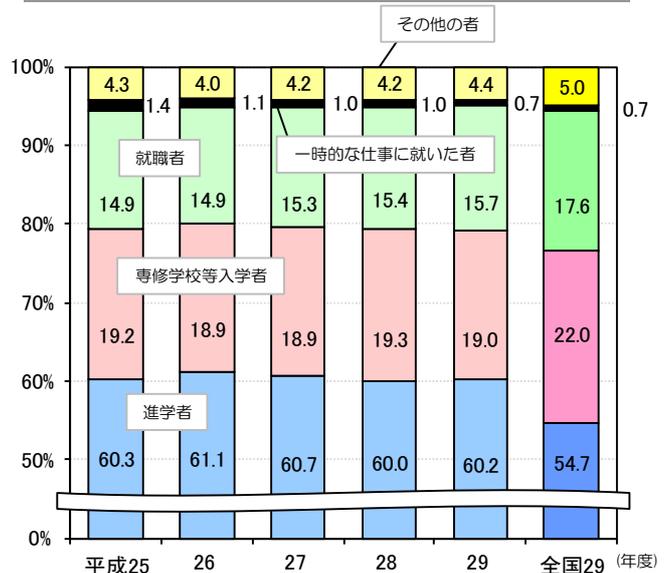
就職者総数は3443人(男子2089人、女子1354人)でした。

男女別産業別にみると、男子で最も多いのは「製造業」で過半数(52.5%)を占めています。一方、女子でも最も多いのは「製造業」(26.8%)ですが、2番目に多い「卸売業、小売業」(24.7%)との差は小さくなっています。

[図7・8・9、第9・10表]

(注1)ここでいう「進学者」及び「専修学校等入学者」には進学者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含み、「就職者」には含まない。  
 (注2)ここでいう「就職者」には進学者及び専修学校等入学者のうち、就職している者を含む。

図7 高等学校卒業者の状況別割合の推移



注)「その他の者」とは、家事手伝いをする者や外国の学校へ進学する者、進路未定の者をいう。

図8 高等学校卒業者の男女別進学率の推移

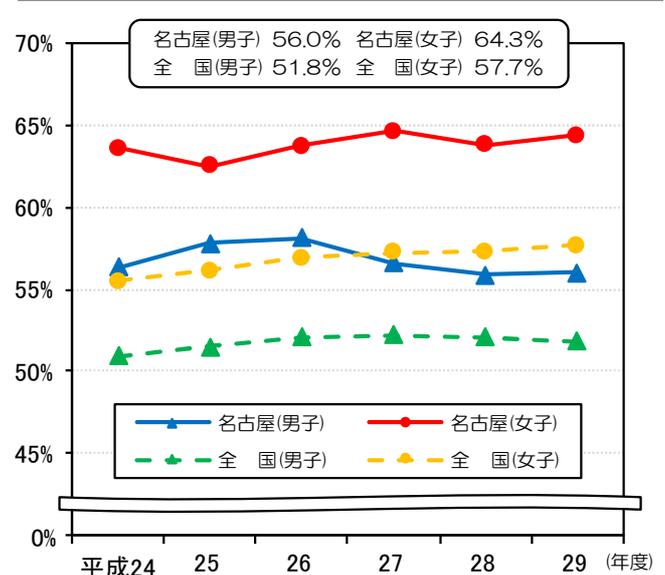
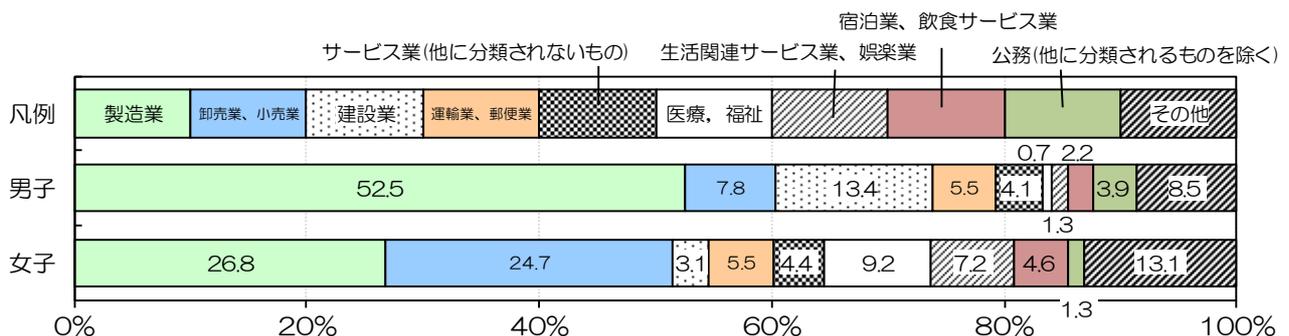


図9 高等学校卒業者の就職者の男女別産業別割合



**10 特別支援学校 — 学校数は10校、在学者数は1846人で前年度より45人減少**

(1) 学校数

学校数は10校(すべて公立)で、前年度と同数でした。

(2) 本務教員数

本務教員数は985人でした。

(3) 在学者数

在学者数は1846人(男子1180人、女子666人)で、前年度より45人減少(前年度比2.4%減)しました。

[付表1・2・10、第11・12表]

付表10 特別支援学校の学級数及び在学者数の推移

年度	学級数				在学者数(人)					
	幼稚部	小学部	中学部	高等部	幼稚部	小学部	中学部	高等部		
平成25年度	375	9	139	94	133	1,747	34	473	364	876
26	377	8	138	96	135	1,823	37	478	379	929
27	382	8	130	96	148	1,853	31	454	384	984
28	387	8	129	89	161	1,877	28	465	350	1,034
29	407	9	134	88	176	1,891	32	465	334	1,060
30	402	9	137	80	176	1,846	41	474	299	1,032

**11 専修学校 — 学校数は120校、生徒数は3万8178人で前年度より560人増加**

(1) 学校数

学校数は公立2校、私立118校の合計120校で、前年度より1校増加しました。

(2) 本務教員数

本務教員数は2031人でした。

(3) 生徒数

生徒数は3万8178人(男子1万8224人、女子1万9954人)で、前年度より560人増加(前年度比1.5%増)しました。

[付表1・2・11、第13表]

付表11 専修学校の課程別生徒数の推移

(人)

年度	生徒数			
	高等課程	専門課程	一般課程	
平成25年度	36,925	4,627	32,064	234
26	38,035	5,475	32,425	135
27	37,213	5,201	31,930	82
28	37,865	5,221	32,558	86
29	37,618	5,194	32,323	101
30	38,178	5,292	32,774	112

**12 各種学校 — 学校数は25校、生徒数は8508人で前年度より59人減少**

(1) 学校数

学校数は25校(すべて私立)で、前年度と同数でした。

(2) 生徒数

生徒数は8508人(男子5548人、女子2960人)で、前年度より59人減少(前年度比0.7%減)しました。

[付表1・2、第14表]

### 13 短期大学 - 学生数は2285人で5年連続の減少

(1) 学校数

学校数は私立7校で、前年度と同数でした。

(2) 本務教員数

本務教員数は166人でした。  
本務教員のうち、女性教員の占める比率は68.1%でした。

(3) 学生数

学生数は2285人(男子28人、女子2257人)で、前年度より170人減少(前年度比6.9%減)し、5年連続で減少しました。

付表12 短期大学の本務教員数の推移 (人)

年度	本務教員数			
	うち女性教員	比率	(全国値)	
平成25年度	160	104	65.0%	51.3%
26	164	104	63.4%	51.7%
27	165	105	63.6%	52.1%
28	168	109	64.9%	52.2%
29	163	108	66.3%	52.1%
30	166	113	68.1%	47.7%

関係学科別にみると、

- 家政 1251人(全学生数の54.7%)
- 教育 655人(同28.7%)
- 保健 303人(同13.3%)
- 人文 10人(同0.4%)
- 専攻科・別科等 66人(同2.9%)

となりました。

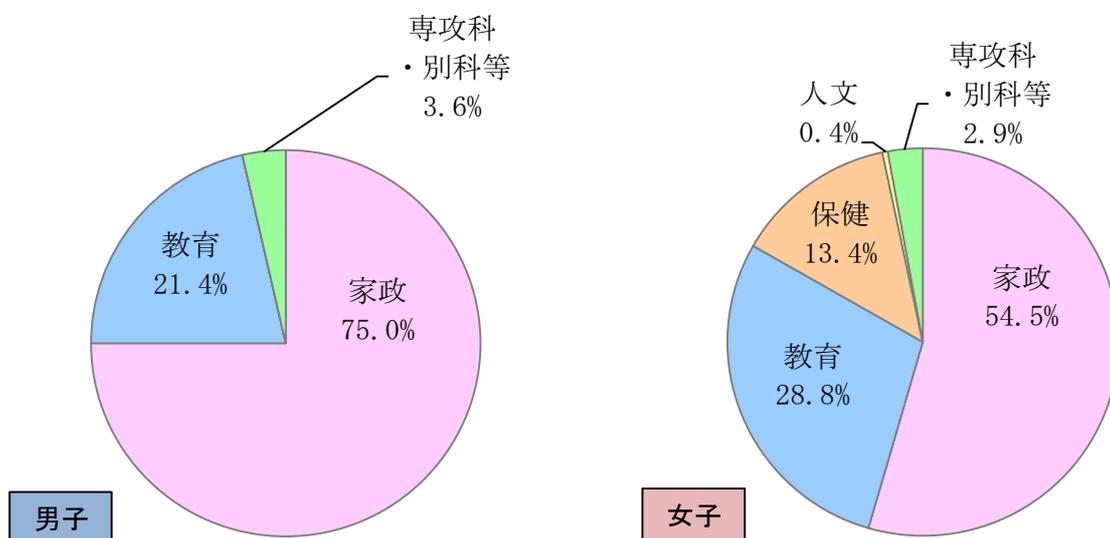
男女別に関係学科別学生数をみると、男子は「家政」が75.0%、「教育」が21.4%となっており、女子は「家政」が54.5%、「教育」が28.8%、「保健」が13.4%、「人文」が0.4%となっています。

[付表1・2・12・13、図10、第15・18表]

付表13 短期大学の男女別関係学科別学生数 (平成30年度)(人)

内訳	学生数					
	家政	教育	保健	人文	専攻科・別科等	
総数	2,285	1,251	655	303	10	66
男子	28	21	6	-	-	1
女子	2,257	1,230	649	303	10	65

図10 短期大学の学生の男女別関係学科別割合



## 14 短期大学卒業後 — 卒業者は1197人、うち就職者は82.6%

### (1) 卒業生数

平成30年3月の短期大学卒業生は1197人（男子12人、女子1185人）でした。

### (2) 卒業生の状況（注1）

卒業生を状況別にみると、

進学者 92人（卒業生の7.7%）

就職者

正規の職員等 969人（同81.0%）

正規の職員等でない者

20人（同1.7%）

一時的な仕事に就いた者

39人（同3.3%）

専修学校等入学者 14人（同1.2%）

不詳・死亡0人

となりました。

卒業生の状況別割合を全国と比較すると、名古屋市は「就職者」が全国より1.2ポイント大きく、特に「正規の職員等」では全国より5.3ポイント大きくなっています。一方、「進学者」は全国より1.3ポイント小さくなっています。

### (3) 就職状況（注2）

就職者を産業別にみると「医療、福祉」が最も多く、職業別にみると「その他の保健医療従事者」が最も多くなっています。

〔付表14、図11、第21・22・23表〕

（注1）ここでいう「進学者」には進学しかつ就職した者を含み、「就職者」には含まない。

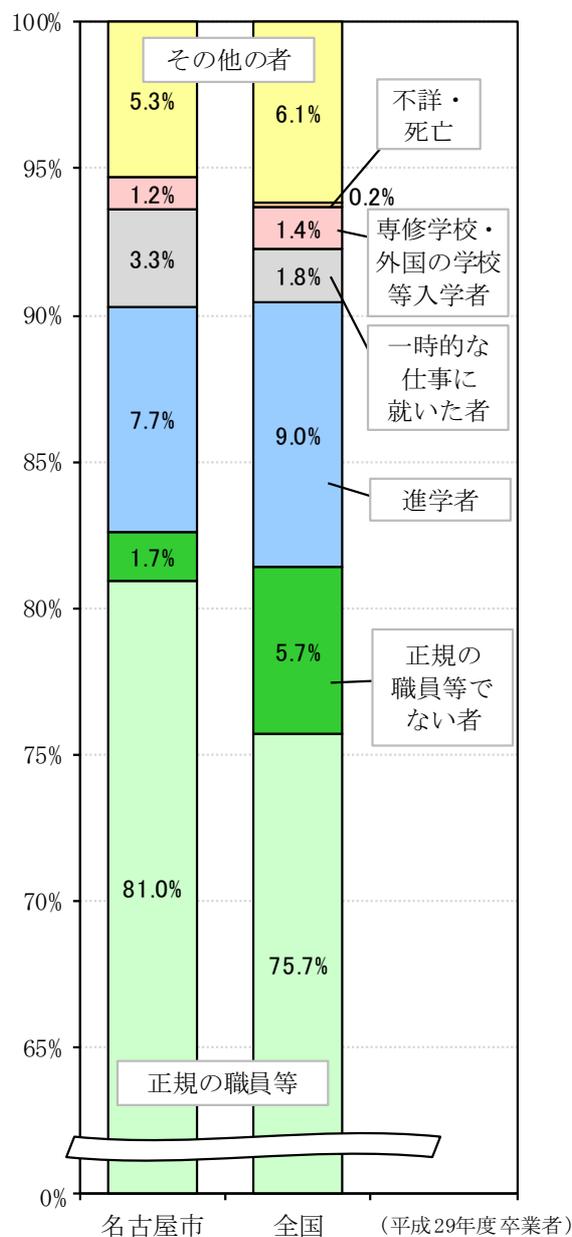
また、「正規の職員等でない者」とは、雇用契約が1年以上で期間の定めがある者で、かつ1週間の所定労働時間が40～30時間の者をいう。

（注2）ここでいう「就職者」には進学しかつ就職した者を含む。

付表14 短期大学卒業生の状況別学生数（平成29年度）（人）

内訳	学生数		
		比率	全国
総数	1,197	100.0%	100.0%
進学者	92	7.7%	9.0%
就職者	989	82.6%	81.4%
正規の職員等	969	81.0%	75.7%
正規の職員等でない者	20	1.7%	5.7%
専修学校・外国の学校等入学者	14	1.2%	1.4%
一時的な仕事に就いた者	39	3.3%	1.8%
不詳・死亡	-	-	0.2%
その他の者	63	5.3%	6.1%

図11 短期大学卒業生の状況別割合



（注）「その他の者」とは進学でも就職でもないことが明らかな者（進学・就職準備中の者、家事手伝いなど）である。

## 15 大学 — 学生数は学部・大学院合わせて過去最多の10万2479人

### (1) 学校数

学校数は国立2校、公立2校、私立19校の合計23校（本部が市外にあり、学部のみが市内にあるものを含む）で、前年度より1校増加しました。

### (2) 本務教員数

本務教員数は5361人で、そのうち女性教員の占める比率は20.1%でした。

### (3) 学生数

学生数（専攻科・別科及び聴講生等を含む）は10万2479人と前年度より553人増加（前年度比0.5%増）し、過去最多となりました。

### 男女別にみると

男子5万5254人(53.9%)

女子4万7225人(46.1%)

となっており、女子の比率は全国より1.8ポイント高くなっています。

### 学部・大学院の内訳をみると

学部 9万936人

大学院 1万543人

となっています。

学部・大学院別関係学科別にみると、学部では、「社会科学」、「工学」、「人文科学」が多く、大学院では、「工学」、「保健」、「社会科学」が多くなっています。

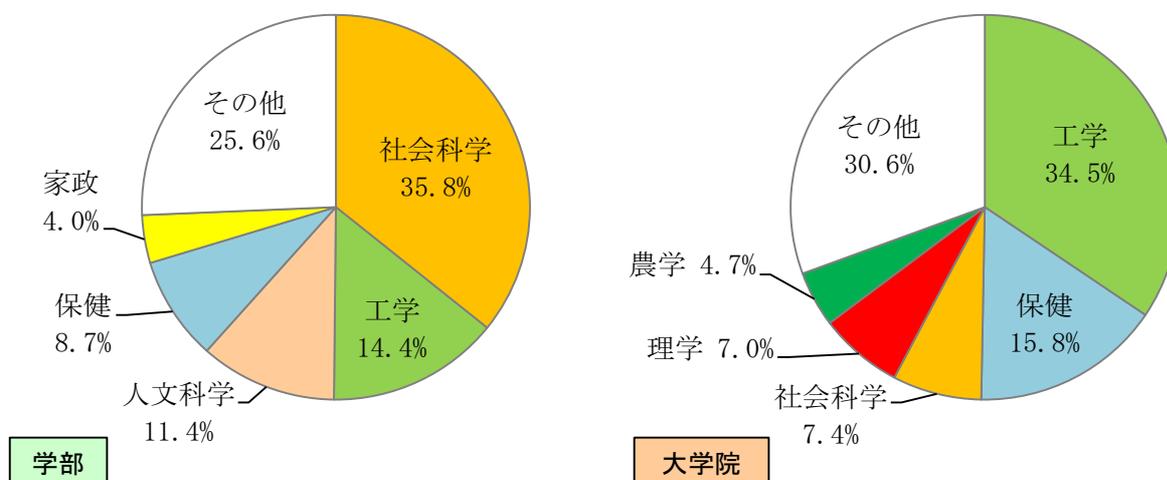
[付表1・2・15、図12、第15・19・20表]

付表15 大学の本務教員数及び学生数の推移

(人)

年度	本務教員数				学生数					
	うち女性教員	比率	(全国値)	うち学部	うち大学院	うち女子	女子の比率	(全国値)		
平成25年度	5,144	916	17.8%	21.8%	96,108	85,246	10,862	43,375	45.1%	42.4%
26	5,240	973	18.6%	22.5%	98,803	88,149	10,654	44,126	44.7%	42.7%
27	5,272	1,016	19.3%	23.2%	100,177	89,580	10,597	44,585	44.5%	43.1%
28	5,293	1,036	19.6%	23.7%	100,914	90,355	10,559	45,245	44.8%	43.4%
29	5,374	1,061	19.7%	24.2%	101,926	91,758	10,168	46,489	45.6%	43.7%
30	5,361	1,076	20.1%	24.8%	102,479	91,936	10,543	47,225	46.1%	44.3%

図12 大学の学生の学部・大学院別関係学科別割合



16 大学(学部)入学者 — 学部入学者は2万686人、うち愛知県内の高校出身者は66.7%

(1) 入学者数

大学(学部)への入学者数は2万686人でした。

(2) 入学者の出身高校の所在地別内訳

入学者数をその出身高校の所在地(都道府県)別にみると、愛知県内の高校出身者が1万3796人で最も多く、入学者全体の66.7%を占めています。以下、岐阜県2418人、三重県1577人、静岡県729人、長野県199人と続き、愛知県及び隣接する4県で90.5%を占めています。

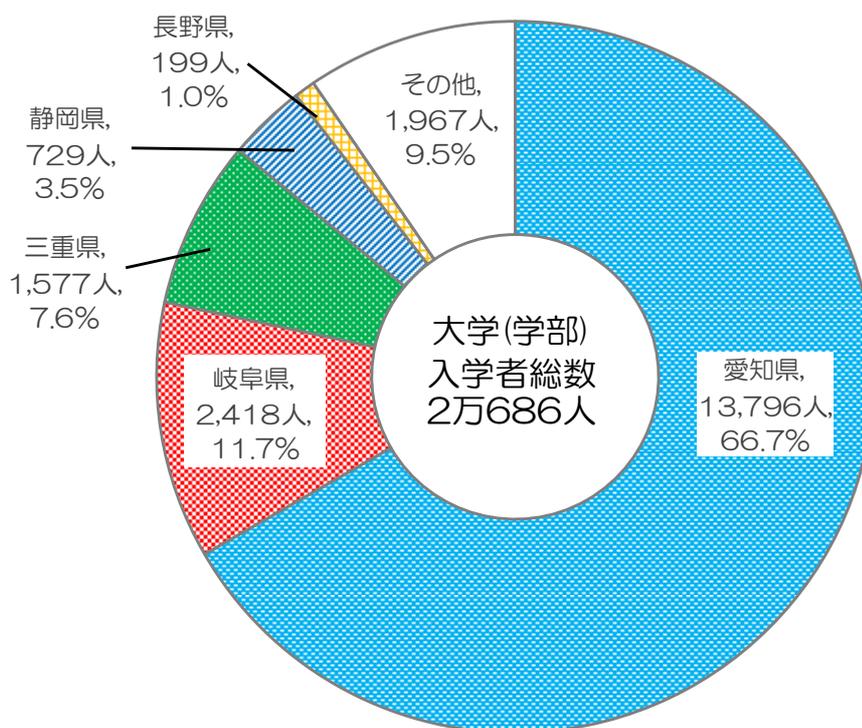
付表16 出身高校の所在地別  
大学(学部)入学者数

(人)

順位	都道府県	入学者数	割合
	総数	20,686	100.0%
1	愛知県	13,796	66.7%
2	岐阜県	2,418	11.7%
3	三重県	1,577	7.6%
4	静岡県	729	3.5%
5	長野県	199	1.0%
	その他	1,967	9.5%

[付表16、図13、第17表]

図13 出身高校の所在地別大学(学部)入学者数



17 大学卒業後 — 学部卒業者は1万8345人、うち就職者は78.8%

(1) 卒業者数 (注1)

平成30年3月の

大学学部卒業者は 1万8345人

大学院修士課程卒業者は 3052人

大学院博士課程卒業者は 678人

でした。

(2) 卒業者の状況 (注2)

卒業者を状況別にみると、いずれも「正規の職員等」が最も多く、次に学部及び修士課程では「進学者」、博士課程では「正規の職員等でない者」が多くなっています。

学部卒業生を全国と比較すると、名古屋市は全国と比べて「正規の職員等」が2.9ポイント、「進学者」が2.6ポイント大きくなっています。

(3) 就職状況 (注3)

大学学部卒業者の就職者を産業別にみると「卸売業、小売業」が最も多く、「製造業」が僅差で2番目となっています。職業別にみると「事務従事者」が最も多くなっています。

大学院卒業者の就職者を産業別にみると「製造業」が最も多く、職業別にみると「製造技術者(開発)」が最も多くなっています。

[付表17、図14、第24～29表]

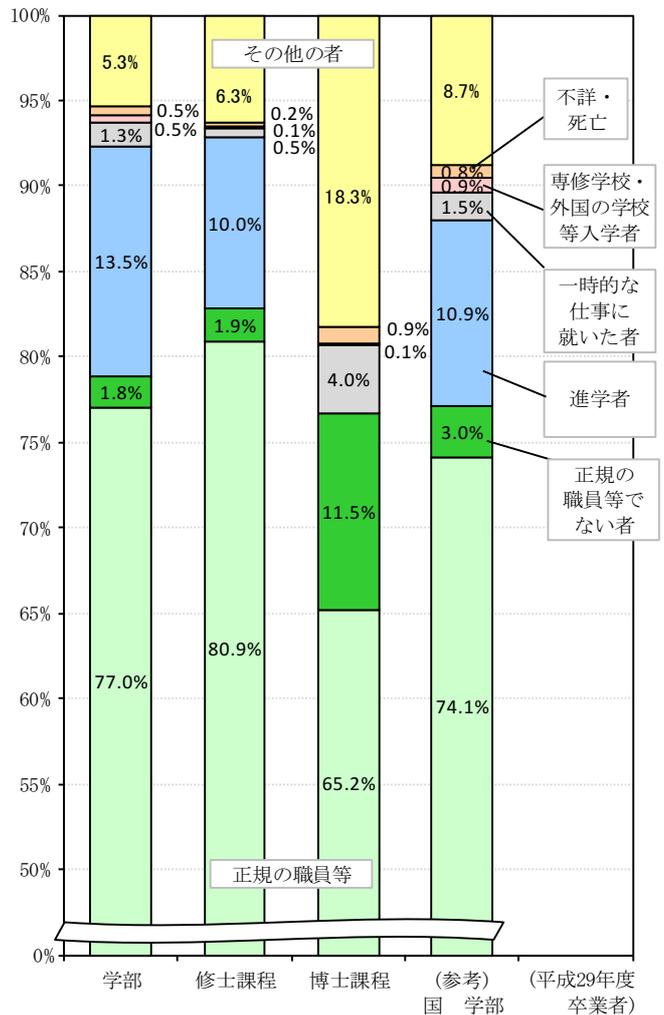
(注1) 「修士課程」には博士課程(前期)を含む。「博士課程」とは博士課程(後期)と歯歯薬学、獣医学関係の博士一貫制の課程である。

(注2) ここでいう「進学者」には進学しかつ就職した者を含み、「正規の職員等」「正規の職員等でない者」には進学しかつ就職した者を含まない。

また、「正規の職員等でない者」とは、雇用契約が1年以上で期間の定めがある者で、かつ1週間の所定労働時間が40～30時間の者をいう。

(注3) ここでいう「就職者」には進学しかつ就職した者を含む。

図14 大学卒業者の状況別割合



注 「その他の者」とは進学でも就職でもないことが明らかな者(進学・就職準備中の者、家事手伝いなど)であり、「学部」の「その他の者」には「臨床研修医」を含む。

付表17 大学卒業者の状況別学生数

(平成29年度)(人)

内訳	学部		修士課程		博士課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
総数	18,345	100.0%	3,052	100.0%	678	100.0%
進学者	2,475	13.5%	306	10.0%	—	—
就職者	14,462	78.8%	2,528	82.8%	520	76.7%
正規の職員等	14,124	77.0%	2,469	80.9%	442	65.2%
正規の職員等でない者	338	1.8%	59	1.9%	78	11.5%
専修学校・外国の学校等入学者	97	0.5%	4	0.1%	1	0.1%
一時的な仕事に就いた者	244	1.3%	16	0.5%	27	4.0%
不詳・死亡	99	0.5%	6	0.2%	6	0.9%
その他の者	968	5.3%	192	6.3%	124	18.3%

## 利用上の注意

この調査結果は、文部科学省所管の平成30年度学校基本統計（学校基本調査の結果 速報値）をもとに名古屋市分についてまとめたものです。

ここで掲げた数値は名古屋市総務局企画部統計課において速報を集計した値であり、後日文部科学省が公表する確定値とは異なる場合があります。

### 1 調査の範囲

#### (1) 学校調査

幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、専修学校、各種学校、短期大学及び大学

#### (2) 卒業後の状況調査

中学校、高等学校、短期大学及び大学の卒業生

### 2 調査の期日

平成30年5月1日現在

「卒業後の状況調査」は平成29年度卒業生について平成30年5月1日現在

### 3 本文及び統計表中の記号の用法

「0.0」 計数が単位未満の場合

「△」 負数又は減少

「—」 計数が皆無の場合

「…」 計数出現があり得ない場合又は調査対象とならなかった場合

### 4 割合数値については、単位未満を四捨五入したことにより総数（計）が内訳を合算した数と合わないことがあります。

※ 特別支援学校の平成18年度以前の数値については、盲学校、聾学校、養護学校の各項目の合計値です。

※ 本市の数値は全て速報値ですが、全国の数値は29年度までは確報値、30年度は速報値となっています。